

国分寺市教育委員会議事録・第13号

会議の種類 第3回国分寺市教育委員会臨時会
会議の日時 令和4年11月8日(火) 午前9時30分
会議の場所 国分寺市立教育センター 2階 203・204号室

会議の出席者

(教育委員会)

教育長	古 屋 真 宏
教育長職務代理者	富 山 謙 一
委 員	辻 亜希子

(説明員)

教育部長	可 児 泰 則
教育総務課長	廣 瀬 喜 朗
学務課長	日 高 久 善
学校指導課長	高 橋 美 香
学校教育担当課長	大 島 伸 二
指導主事	野 村 宏 行
指導主事	渡 辺 大 輔
公民館課長兼本多公民館長	本 多 美 子
図書館課長兼本多図書館長	櫻 井 明 徳

(事務局)

書 記	佐々木 理絵子
書 記	富 永 菜 月
書 記	山 口 徹

傍聴人 0人

〔開会と署名委員の指名〕

午前9時30分、教育長は開会を宣言し、署名委員として1番富山教育長職務代理者、4番辻委員を指名した。

〔教育長等の報告〕

なし

〔議事〕

1 議案第47号 令和4年度国分寺市一般会計補正予算案について<教育長提出>

(議案の内容と説明)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第29条の規定により、教育委員会の意見として市長に述べる必要がある。

教育総務課長 現時点で第4回定例市議会に提案を予定しております。教育委員会の補正予算案については、歳入が2課3件、歳出が4課7件です。従前どおり歳入については、教育総務課で取りまとめて御説明させていただきます。歳出については、各担当課より御説明をさせていただきます。冒頭説明の終了後の質疑については、各担当課の説明員よりお答えをいたします。

議案文の裏面、歳入の総括表を御覧ください。

教育総務課所管の案件は2件です。一括説明をさせていただきます。項番1の国庫支出金の教育費国庫補助金及び項番2の都支出金の教育費都補助金です。共に小中学校施設整備費補助金であり、いずれも今年度になって新たに認められ、対象となったもので、GIGAスクール構想の運営支援に係る事業に充当するものとして、国費、都費それぞれ補助率3分の1の補助金、各々220万4,000円ずつの増額計上をしたいというものです。

続いて、学校指導課所管の案件になります。項番1、都支出金の教育費都補助金です。部活動指導員配置経費補助事業補助金85万円の増額であり、部活動における外部指導者の配置支援事業に関して、東京都より都費10分の10の補助金の交付決定があり、当該補助金の増額計上をしたいというものです。本歳入については、既に本年度当初の歳出予算に計上済みの教育研究指導事業費の報償費、課外部活動指導の事業に充当予定です。

続いて、歳出の総括表を御覧ください。教育総務課は4件です。

項番1、教育総務費、教育委員会事務局運営に要する経費です。こちらは、次年度当初において、児童数の増加に伴ってクラス増が見込まれる小学校の普通教室に関して、校内のシステム環境の追加整備などの委託料1,951万4,000円を増額計上したいというものです。

続いて項番2、小学校費、小学校の運営に要する経費です。例年第4回定例市議会に御提案をしている、次年度当初の児童数増への対応のための学習用の机及び椅子の購入に係る需用費1,532万3,000円を、また次年度当初にクラス増が見込まれる普通教室に配備するテレビの購入に係る備品購入費42万7,000円をそれぞれ増額したいというものです。

項番3、小学校費、小学校の施設維持管理に要する経費です。こちらは、都市ガス料金の値上がりにより、小学校の都市ガス料金の不足が見込まれるため、需用費1,480万2,000円を増額したいというものです。

項番4、中学校費、中学校の施設維持管理に要する経費です。こちらも項番3と同様になります。都市ガス料金の値上がりにより、中学校の都市ガス料金の不足が見込まれるた

め、光熱水費 619 万 9,000 円の増額、及び新型コロナウイルス感染症対策として、市立第五中学校のトイレ手洗いの自動水栓化のため修繕費 273 万 1,000 円の増額、合計 893 万円の需用費を増額したいというものです。

学務課長 学務課からは項番 1、小学校の給食に要する経費について、燃料費高騰に伴う給食調理に要する都市ガス料金の不足分を増額するものです。補正額は、491 万 7,000 円です。

公民館課長兼本多公民館長 公民館課からは、公民館の施設維持管理に要する経費 650 万円です。新型コロナウイルス感染症対策として、市立恋ヶ窪公民館を除く計 4 館でトイレ手洗い等の自動水栓化の修繕をするための増です。

図書館課長兼本多図書館長 図書館課からは、図書館の施設維持管理に要する経費の補正になります。本多図書館駅前分館内事務所の電気代について、電気料金の高騰等を受け、年度内の支払いに不足が生じるおそれがあるため、6 万 6,000 円の増額補正をお願いするものです。

(意見・質疑の要旨)

富山教育長職務代理者 学校指導課の都支出金の部活動指導員の配置に伴う補助金の皆増で 85 万円がついています。しかし、以前、部活動を行う平日午後の時間帯は、指導者がなかなか見つけにくいとのことでしたが、現在はどのような状況でしょうか。

学校指導課長 御指摘のとおり部活動指導員は、条件的になかなか見つけることは難しい状況に変わりはありません。現在は国分寺市全体で 17 人を雇用しています。

富山教育長職務代理者 条件的に見つけるのが難しいという点についてもう少し具体的に説明いただけますか。

学校指導課長 市内の中学校に様々な運動部活動、文化部活動がありますが、それぞれの部活動に必要な専門的な知識等を持っており、部活動を実際に実施している時間帯に、必ず来ていただける人材とは、うまくマッチングできていない状況です。

富山教育長職務代理者 確かに授業が終わり、部活動を行う 4 時半から 6 時半くらいまで多くの方に活動していただくことは難しいと思います。そのような時間帯に出られるのは本当に限られており、その上、専門性がある方となると、より限られてしまい難しいと理解できます。

中学校の部活動を地域に移行することは中央教育審議会でも出されており、社会全体で考えていく時代の中、限られた時間帯に専門性を持った方が部活動指導員になることは、非常に少なく、それは客観的な事実だと思います。そこでどうするのか、という話になりますが、結論として、まだ具体的な策はなく、なかなか難しいと思います。そのような中で前に進むことは、部活動の意義を広く社会に発信していくことになり、機運を高めていくことが当面の間は大事かと思います。教育委員会として、広く意義を啓発活動する中で、厳しい時間帯の中でも、部活動に出られる方たちに届くような PR をして、人材確保につながっていけばと思います。

教育長 部活動の地域移行は、これから十分に検討していかなくてはならない課題だと思います。社会教育という視点からも様々な団体がありますので、その団体との連携や、民間との連携という視点も含め、今後よりよい部活動とは何かを考えていけたらと思います。

辻委員 教育総務課に伺います。歳出の燃料費高騰に伴う光熱水費、都市ガス料金の増とありますが、都市ガスは学校内でどのように使われているのでしょうか。

教育総務課長 都市ガスについては、校舎や体育館のエアコンでガスヒートポンプのものがああります。それを中心として使用しています。

辻委員 これから寒さが厳しくなる時期に向かいます。増額していただくことは利用者の健康を守るという点でも非常に重要なことと思います。

また、G I G Aスクール運営支援に係る事業補助金の皆増は、具体的にどのような内容か教えてください。

教育総務課長 G I G Aスクール運営の中のヘルプデスクの委託費に充当するものです。今年度に入ってから国から補助金に関する通知があり、交付申請の後、認められています。

辻委員 ヘルプデスクの利用状況はいかがでしょう。

教育総務課長 昨年度は、およそ千数百件の利用があったと伺っています。

辻委員 現場の先生方が日常業務をしながらG I G Aスクールの業務を行うことは、大変な御苦労があると思います。この運営支援に力を入れていくことは非常に重要だと思えます。利用の実績もあるようなので、G I G Aスクールの事業を継続していくためにも、ぜひしっかり予算もとって使用していただけたらと思いました。

富山教育長職務代理者 回答は結構ですが、教育総務課の1番、2番、児童数の増加と、35人学級対応ということですが、児童数が増えることや、35人学級が去年から始まったことも大変うれしいことだと思います。

とりわけ35人学級は、先生が一人一人の児童をよく見守って個別最適化が図れるという意義があり、その中でも特に高学年の場合、タブレットの操作ができる子とできない子が、はっきりしてきます。操作ができない子に対しては、しっかり面倒を見てあげないといけない部分もあり、35人学級は大変メリットがあり、学力向上にもつながってくると思えます。またコロナ禍での3密を避けるという面でも35人学級は非常にメリットが高いと思えます。しかし、デメリットもあり、教材や教室が足りなくなる、先生も足りなくなるなど、そのような中でいろいろ御苦労は多いと思うのですが、今後35人学級及び新型コロナウイルス感染症対策の部分も含めて子どもたちにしわ寄せがないような形で、教育活動に不足が至らないように入念な準備をしながら対応をしていく必要があると考えました。

教育長 子どもたちに負担がかからないように、教育環境の整備にはしっかりと当たっていきたいと思えますが、一方で市の財政負担は非常に重くなっていきます。その点は東京都市教育長会などを通して、補助金等の予算の獲得のお願いをしているところです。引き続き取り組んでまいりたいと思えます。

(採決)

原案どおり可決（全員一致）

〔その他〕

なし

〔閉会〕

午前9時48分、教育長は閉会を宣言した。

署名委員

1 番

富山謙一

4 番

辻亜希子

調製職員

廣瀬喜朗